

若竹だよい

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

桜咲く



園長 宮竹 恒

五色台の山も桜が美しい季節となりました。春は、日本人にとって特別な季節のように思います。冬の厳しい寒さを経て、桜の花の美しく咲く様は、勤勉の結果として行く道が開けることに通じるように感じます。

さて、今春、中学生6名、小学生5名が卒業を迎えました。学園を巣立って行く子どももいます。一人ひとりの行く道は違いますが、学園で仲間と一緒に生活したことが心の糧になれば幸いです。

卒園する子どもたちに贈る言葉が2つあります。一つは、「よろこんで与える人間となろう」という言葉です。毎日、職員も子どもも唱和している「私たちの願い」の中の最初にくる言葉です。二つ目は、「笑顔を大切に」です。見返りを求めることなく、嫌々でもなく他者に与えることは大人でも難しいことです。「笑顔」も意識していないと無表情になることが通常かもしれません。

子どもたちには、桜の花のように自然に他者に笑顔で接し、与えられる大人に成長して欲しいと願っています。

これまで、保護者の皆様を始め、多くの方々のご支援があり、巣立ちの時を迎えられましたことに心より感謝申し上げます。

今後も、職員と一緒に卒園生の成長を見守っていきたいと思います。

—了—



3月18日に若竹学園の卒業式が執り行われました。

新型コロナウイルス感染予防対策で、昨年に引き続き、在園生は出席しない卒業式となりました。卒業式では、下笠居中学校の校長先生や若竹学園長からの言葉を真剣に聴いている卒業生の様子が印象的でした。

学園でのこれまでの生活を振り返りながら、頑張ったところは学習だけではなく、先生方や園生との出会いの中での人間関係の気づきや多くの学びがあったことを伝えられました。また、経験の中でチャレンジして上手いかなかったことがあったとしても、失敗ではなく成長につながっていることを話されていました。

これからの新しい生活が始まる卒業生の背中を押してくれる強いメッセージであったように感じました。子ども達にとって今の限られた状況の中での特別な式になったように感じました。



青峰・若竹学級だより 3月

小中合同授業

中学校の美術、小学校の図画工作の授業を合同で実施し、「抽象的彫刻」の制作に取り組みました。

直方体の大理石を、やすりの種類を変えながら、丁寧に研磨していきました。形作りに時間をかけたり、より滑らかになるように粘り強く磨いたりして、完成させることができました。



遍路道の清掃

小学校の総合的な学習の時間では、白峰寺と根来寺を結ぶ遍路道に設置している「子ども遍路小屋」の整備をしており、今回は遍路道のごみ拾いをしました。事前の道徳の授業で、自然愛護や環境保全について考えたことを生かし、どの児童も時間いっぱい真剣に活動しました。



自然科学展示室

学校から20分ほど歩き、香川県立五色台少年自然センターの自然科学展示室に行きました。県内で見られるホニユウ類や鳥類のはく製、昆虫類の標本、県特産のサヌカイトやナウマンゾウの化石等の展示がありました。これまで理科や社会科で学んだことを思い出したり、写真や動画資料でしか見られなかったものを直接観察したりすることができました。



終業式・離任式

24日に、3学期の終業式と離任式が行われ、下笠居小学校の久保田校長より「仲間を大切にできる人になってください。」とお話がありました。

また、中学校の金崎先生・新開先生・森木先生、小学校の岡坂先生が今回の人事異動で転任になりました。離任式では、青峰・若竹学級での楽しい思い出と、感謝の気持ちを述べられていました。先生方、本当にお世話になりました。





2月13日（日）に学園の園庭で BBQ をしました。当日は、朝から全員で協力して準備をしました。火起こし係や、具材を切る係、カレーを作る係、机やお皿などを用意する係など、それぞれのチームに別れて準備をしました。



コロナウイルスの関係から、出来るだけ早めに準備をし、短い時間で BBQ が終わるように心掛けて、頑張りました。

早めに作業が終わった子どもたちが、他のチームを手伝う姿が見られました。みんなの協力のおかげでスムーズに始めることが出来ました。



準備が終わると、各班に分かれて開始しました。

始まると、「私がお肉焼くよ。」と言うこえが聞こえ、中学生が中心となって、班の子どもたちを引っ張ってくれていました。その様子を見ていた小学生たちも「お肉を焼くのを代わるよ。」「僕が焼くから、たくさん食べなよ。」と言ひ、班の中で相手を気遣う様子が見られました。



終盤になると、「お肉ほとんど無くなった、お腹いっぱい！」や、「カレー3杯食べた。もう食べられない。」などと言う声が聞こえ始めました。最後に、キャラメルと生クリームを網の上で溶かしてミルクキャラメル作り、そこにビスケットを付けて食べ、食後のデザートとしました。



3月で退園する子どもたちもいますが、最後にみんなで楽しく過ごすが出来て良かったです。いい思い出になっていたらいいなと思います。 泉川しどろがく

ホワイトデー

12日の土曜日、バレンタインを作ってくれた女子へのお返しということで、男子全員でホワイトデーお菓子作りにチャレンジしました。

どら焼きを作ったつもりが上手く生地が膨らまず、結果的にはパンケーキサンドになりましたが、可愛くラッピングもしました。味見といいながら、たくさん男子もたべました。

サプライズで14日の夕食後に女子に渡しました。女子からは、美味しいという返事をいただきました。

「俺たちの分はないの!？」とあれだけ食べた男子たちから声にびっくりしました。それだけ美味しかったんだと思いました。

バレンタインデーのお返しをすることに全員反対もせず一生懸命作っている姿に、子ども達の思いやりの心を感じました。

・2階男子の様子…小さい生地を2枚重ねてサンド仕様にしてくれました。丁寧!



・3階男子の様子…大きい1枚の生地を折り畳んで、上手にできました!



3月行事

11日	誕生日ケーキ作り
12日	ホワイトデーお菓子づくり
18日	卒業式
24日	終業式
25日・29日	買物外出

在籍人数

令和4年4月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	1	3
中学生	8	2	10
合計	10	3	13

ご寄付ありがとうございます。

ピッツェリアアルチェントロ 様

ピザ沢山

編集後記

学園でも桜の蕾が徐々に開花して来ており、春を感じる時期になりました。春と言えば、卒業や入学シーズンです。学園でも卒業生の方たちが巣立って行きました。学園で学んだ事や思い出を胸に次の場所でも頑張って貰いたいと思います。 井上

第336発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

